

教えて 国土交通省!

国土交通省に寄せられた、普段の生活で感じたふとした疑問や質問などを紹介するコーナーです。

気象庁の担当者に聞きました

Q 「火山噴火時に注意することは？」

今年1月、鹿児島県の新燃岳^{しんもえだけ}が52年ぶりに噴火して話題になりました。日本には火山がたくさんありますが、火山が噴火した時に備えて注意することを教えてください。（群馬県・中2）



噴煙を上げる新燃岳。撮影：福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

A

火山の噴火時には、「噴石」「火砕流」「降灰」「小さな噴石(火山れき)」「大きな空振^{くうしん}※」「上空の風」「降雨時の土石流」などに注意が必要です。

気象庁は、全国の活火山を対象に噴火災害軽減のため、噴火警報・噴火予報を発表しています。噴火の影響が及ぶ危険な範囲を明示し、火山ごとに噴火警戒レベルを発表していますので、ホームページなどでご確認ください。（<http://www.jma.go.jp/jp/volcano/>）

また、住民や登山者の方に必要な防災対応についても、噴火警戒レベルを5段階に区分し、「避難(レベル5)」「避難準備(レベル4)」「入山規制(レベル3)」「火口周辺規制(レベル2)」「平常(レベル1)」のキーワードで警戒を呼びかけていますので、参考にしてください。

※爆発的な噴火の発生に伴い、火口の急激な気圧変化による空気の振動が、衝撃波となって空气中を伝わる現象。窓などを壊すことがある。

水資源部の担当者に聞きました

Q 「効果的な打ち水の方法は？」

暑い夏を乗り切るために、クラスの班ごとに自分たちでできる事を考えています。いろいろな方法を調べているうちに「打ち水」を知りました。どのようにやれば効果的なのですか？（神奈川県・小6）

A

打ち水は、水資源の有効利用に結びつくだけでなく、ヒートアイランド対策にも貢献するため、近年見直され、注目を集めています。原則として、水道水ではなく、お風呂の残り湯や雨水などを再利用して活用します。また、ペットボトルやポリバケツなど身近なものを使って行います。江戸時代のエコライフ・伝統文化の見直しという観点から、浴衣など涼しげな服装で行うと楽しめると思います。

国土交通省でも、8月1日～7日までの「水の週間」の行事の一つとして打ち水を行っており、全国にもその輪が広がりつつあります。ちなみに、昨年に国土交通省で行った打ち水では、10分程度の作業でしたが、37℃から36℃へ1度下がりました。みなさんも、冷房を使用する代わりに、ご家族やお友達と打ち水を行い、楽しみながら効果を実感してみてください。



国土交通省で行った打ち水の様子。